

## 事例2 良夫さん（82歳）男性

- ・ ひとり暮らし
- ・ 隣の区に息子一家が居住
- ・ 自宅で介護サービスを利用して生活していたが、脳梗塞を発症し、入院
- ・ 治療が落ち着いた段階で、病院を退院し、リハビリ目的に介護老人保健施設に入所
- ・ 新しい出来事を忘れるなどの認知症の症状があり、入浴や移動などに介助が必要
- ・ 要介護度は3

- ・ 入所中の老人保健施設からは、介護サービスを利用して、在宅で生活することも可能だと言われる
- ・ 良夫さんは、自宅での生活を強く希望
- ・ 良夫さんの息子は、良夫さんのひとり暮らしを不安に思い、以前、市民しんぶんで存在を知った、高齢者に関する相談窓口である地域包括支援センターに相談
- ・ 良夫さんの息子は、地域包括支援センターの職員から要介護の状態であっても様々な支援を受けてひとり暮らしを続けている事例を聞き、良夫さんが自宅での生活を再開させることに同意

地域包括ケアにより、住み慣れた  
地域での生活をサポート！

- **医療**
  - ・ かかりつけ医による訪問診療
  - ・ 訪問看護師による健康状態の確認（複合型サービス）
- **介護**
  - ・ 訪問、通い、泊まり等の介護サービスの利用（複合型サービス）
- **住まい**
  - ・ 介護保険を利用した住宅改修の実施（段差の解消、手すりの設置など）
- **生活支援サービス**
  - ・ 配食サービスの利用
  - ・ 老人福祉員による見守り



